

やすサミ



議会だより

第166号

2021.8



小川獅子舞体験したよ！（安田小4年生）

令和3年6月定例会

一般質問 5氏が問う	2
議員提出議案	7
人事案件 4件	7
令和3年度補正予算ほか	8

令和3年7月臨時会

契約締結	9
------------	---

6月16日開会。議員提出議案、教育長の任命同意、条例改正、補正予算等、11議案を審議、5氏が一般質問を行い、18日に閉会した。

一般質問 ここが知りたい

Q 町内各所のため池の年次的な整備計画を補助事業を活用し、適切な対応を図っていく



内川議員

問 本町では、古くから農作業等の用水確保の一つとして、各所のため池が設置されているが、現在では、高齢化による離農等で管理が行き届かず、未利用のまま老朽化するため池が増加し、地震や天候不順等による集中豪雨で決壊し、下流の民家等に甚大な被害の発生が懸念されている。

県は、堤が高く、下流域に民家や公共施設のあるため池を「防災重点ため池」に指定、優先的に改修を進めており、本町には、現存するため池が17カ所、そのうち「防災重点ため池」は6カ所で、防災対策として昨年度、ハザードマップを策定し、本年度から「防災重点ため池」から優先的に廃止する計画を立てている。必ず起こるといわれている南海地震や、未曾有の集中豪雨等による決壊被害防止のため、地権者等と協議のうえ、国・県の補助事業

等を最大限に活用し、一層の安全安心なまちづくりを進めていくべきではないか。



ため池（東島）



今村経済建設課長

答 ため池の管理は、下流域に住家や保全施設等が存在するため、施設管理者による点検等は日常的に実施しており、台風シーズン前には全施設の防災総点検を実施し、適正管理に努めている。

「防災重点ため池」は、活用されている3カ所で国の補助事業を活用し「ため池ハザードマップ」を作成しており、地域住民の防災意識向上とあわせ、日々の管理体制の強化を図っている。また、活用されていないため池は、本年度、廃止に向けた調査設計を実施し、次年度以降にその対策を講じていく。

Q 土砂災害特別警戒区域と避難体制等の対応は **A** しっかりとした仕組みづくりに取り組む



黒岩議員

問 国の土砂災害防止法の施行に伴い、町の避難指示等の発令時に、迅速に避難体制を取るため、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定が行われた。

県の調査では、本町の指定区域箇所は137箇所となり、さらに指定区域内の人家戸数は97戸となっている。

この法の主な目的は住民の生命・身体を守るソフト対策の規定であるが、対象世帯は自らの財産価値を失う結果となった。そこで次の3点について問う。

(1) 県の補助金等を活用して対象世帯を支援していく考えはないか。



手島総務課長

(2) 町の土砂災害特別警戒区域対象者への事前周知と対応方法並びに避難体制の取り組みはどうか。

(3) 今後、住民の避難意識の高まりによって避難者の増加が予測されるが、避難所でのコロナウイルス感染症対策の備品類の備蓄及び職員の体制は整っているか。

答 (1) 県の補助事業とあわせ、国の補助事業も取り入れ、必要な支援は行っていく。また、住民が利用しやすい補助制度の環境整備も検討していく。

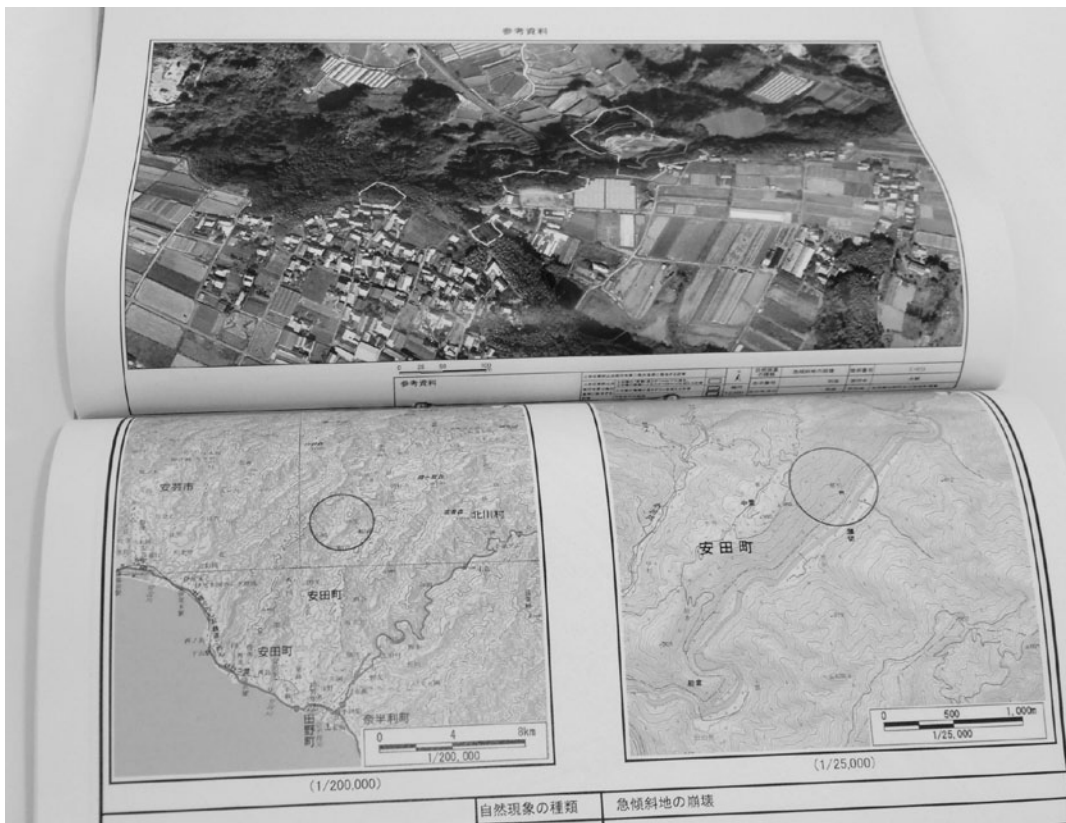
(2) 土砂災害特別警戒区域に指定された地域ごとに警戒避

難体制に関する事項を定め、地域住民懇話会などの場を活用し、広く住民に周知する。また、ハザードマップ等を作成し各世帯に配布するなど、

速やかに事前対応を図っていく。

(3) 備品は、地方創生臨時交付金を活用し、整備済みである。また、避難所開設時は職

員を配置し、各地域で策定の進んでいる避難所運営マニュアルを活用していく。



本町の土砂災害特別警戒区域

Q 農業後継者育成と合わせた移住定住対策の考えは A 担い手や地域の実情に沿った形で農業振興を図っていく



中島議員

問 本町の農業は、少子高齢化が進み離農の一途をたどっている。施設園芸も例外ではない。一方で新規就農者も増加傾向となっはいるが研修後の自営農業を営む上で、農地の確保及びハウスの取得など、スムーズな自立就農ができないでいる。

町外からの希望者は、生活する住まいも自らが探さなければならず、住居確保の支援が必要となる。国の基盤整備事業を活用して、区画整理をし、就農者に向けた施設ハウス等の用地として貸し出し、担い手確保へつなげていくべきではないか。

また空き家対策事業等を活用し、一ター・ン・ウターン者等の移住定住促進をさらに充実させ、農業振興と人口減少対策を合わせた取り組みを複合的に講じていく考えはないか。



南副町長

答 研修後は、就農後5年間の給付や安芸農業振興センター、JA等と連携し、営農面のサポートを行っている。また、サポートハウスを整備し、経営実践や実績確保などの場として活用している。

新規就農者の農地確保は、農業委員会や農地中間管理機構と連携を図りながら、意見交換等をより積極的に

行い推進していく。

移住定住促進は、空き家活用促進事業のほか、住居改修費等補助の活用による住環境のレベルアップと空

き家ストックの確保、分譲団地の整備など、さまざまな取り組みを進めている。

定住のために住環境の整備、補助は重要であり、就

農者向けの住居の確保については、取り組みを進める中で支援の在り方などを検討すべき課題だと考えている。



新規就農者の研修

Q ドローンの活用による防災・災害対策の考えは導入に向け、講習会等の早期対応を図っていく



佐竹議員

問 災害はいつ発生するか予測が難しいことが多くある。台風や集中豪雨、地震、津波等による河川の氾濫や崖崩れ、道路の陥没、家屋やブロック塀の倒壊や大規模な山林火災など人での被災状況が把握できないこともドローンなら迅速で的確な状況確認ができ、災害対策等に大きな効果が発揮できるため、早急に導入を検討してはどうか。

答 ドローンとは、航空法に規定する無人航空機の総称で、人が乗ることができない航空機のうち「遠隔操作または自動操縦により飛行することができる重量200グラム以上のもの」で産業・

商業用や救援活動、災害支援活動、物質運搬など人が行うよりも効率的に作業ができ、また、危険なエリアでも立ち入り作業ができる利点がある。特に災害から「町民の生命と財産を守る」ことから職員の高機管理意識の高揚を図り、全庁一体となった取り組みが重要であるが、ドローンの導入の考えはないか。



手島総務課長

答 本町のように自然災害に対し多くの危険箇所を有する町村では、山林や急傾斜地などの人の立ち入りが困難な場所でもドローンを活用することで素早くアプローチできる。災害現場で

の情報収集面に効果が期待されており、近年は自然災害の発生も多く、各職員の危機意識も向上しているこ

とから、専門機関などによる講習会を企画するなど、導入に向け早期対応を図っていく。



活用が期待されるドローン

Q 不動地区に避難所の設備はできないか
A 適地があれば積極的、計画的に整備をしていく



太田議員



黒岩町長

問 海岸4地区(唐浜・薬師・町・不動)のうち唐浜、薬師には避難タワーが建設され、町には新庁舎があり、不動地区には避難のできる高台はあるが、避難所はない。台風時には、厳しい状況下であると思うが、雨、風に安心して避難のできる避難所はつくれないか。

報道では過去の南海地震を越える被害が想定されている。

『天災は忘れた頃にやってくる。』と言われ、命が、第一と言われている今日である。

不動地区及び、町民が安心して避難のできる設備はできないか。

答 不動地区は不動西、中、東、三軒家と大野に分かれており、大野台地への避難路は整備しているが、適地があれば積極的にあずまや等の避難場所を整備していきたい。

また、工業団地へ企業が進出した際には、施設に避難できるような協定を結び、できるだけ早い機会に計画的に整備していきたい。



不動地区避難路と避難広場(桜坂団地付近)

議員提出

◆安田町議会会議規則の一部を改正する規則◆

提出者 田之上健太

賛成者 豊永土佐太郎

賛成者 内川 一則

提案説明

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するにあたっての諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から産前・産後の欠席期間を規定するもの。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名または記名押印に改めるもの。

審議結果…全員賛成(可決)

人 事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める件◆

内容

人権擁護委員法の規定により、法務大臣から委嘱されている本町の人権擁護委員2人のうち、欠員となっている1人について、委員候補を選任し、推薦するため、議会の意見を求めるもの。



横田 毅 氏
(安田)

審議結果…全員賛成(適任)

※人権擁護委員は、法務局へ推薦され、弁護士及び人権擁護委員連合会に意見を求めて検討したのち、法務大臣により委嘱される。

◆教育長の任命同意◆

内容

現教育長の任期が、6月30日をもって満了となることから、後任の教育長任命について同意を求めるもの。



竹内 良和 氏
(51歳)

審議結果…全員賛成(同意)

◆町固定資産評価審査委員会委員の選任同意◆

内容

地方税法等の規定により、固定資産評価についての不服申し立てに対する審査機関として設置している、町固定資産評価審査委員会委員3人のうち、2人の委員の任期が満了となったことに伴い、引き続き現委員である。

清岡東洋夫氏(78歳)
小松 光雄氏(71歳)

を選任するもの。

審議結果…

2件とも全員賛成(同意)

条例改正

◆安田町税条例の一部改正◆

内容

地方税法の一部改正に伴い、住民税において医療費控除特例の期間延長、扶養親族に係る非課税範囲の明記等、条例を一部改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町国民健康保険税条例等の一部改正◆

内容

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯を対象に、令和3年度も引き続き減額免除措置の対象とするよう適用期間を改める等、

改正を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町個人情報保護条例等の一部改正◆

内容

デジタル庁設置法などデジタル改革関連法の公布に伴い、関連する町条例の一部を改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

内 容

◆町道東西島線（東西島橋）
橋梁保全工事（明許）◆

契約締結

平成27年度に実施した橋梁点検結果に基づき、東西



橋梁保全工事を行う東西島橋

審議結果…全員賛成（可決）

島橋の橋梁保全工事を実施するもの。
4社による指名競争入札の結果、(有)松本工業と6139万2100円で契約。

金の追加

1771万円

○施設等整備基金への積立

900万円

○キャンプ場追加整備等の建設事業費の追加

408万円

の追加

○子育て世帯への生活支援特別給付金など補助金等の追加

641万円

策等の物件費の追加

627万円

○小中学校における新型コロナウイルス感染症対策等の物件費の追加

費の追加

○会計年度任用職員の人件

費の追加

もの。

当面、その執行に緊急を要するが生じた事項について追加の措置を講じるもの。

内 容

◆令和3年度町一般会計補正予算（第1号）◆

補正予算

総額4350万円追加

補正後の予算総額

32億750万円

質 疑

問 キャンプ場の追加整備工事費、アユのモニュメントの修繕費が、全額県の交付金で賄うことになっているが問題はないのか。

答 今回の整備及び修繕費は、地域観光振興交付金を活用している。

アユのモニュメントは、国道からキャンプ場への目印になるということで、県との事前協議で了承をもらっている。



目印にもなっているアユのモニュメント

問 北大野工業団地の土地売却収入1771万8千円を施設等整備基金へ積み立てる目的は何か。

答 町施設の老朽化が進んでおり、今後多額の修繕費が必要となる。それに備えるための積み立てである。

問 補正予算の財源で、1115万4千円は財政調整基金で賄うのか。

答 財源の不足分は財政調整基金で一時補てんをする。今後、交付税及び繰越金等が確定するので、財政調整基金を調整していく。

審議結果…全員賛成（可決）

意見書

◆選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書◆

提出先 内閣総理大臣ほか

審議結果…全員賛成（可決）

第6回臨時会

令和3年7月5日開会、契約締結を審議し、同日閉会した。

契約締結

◆旧中山小中学校校舎改修工事◆

内容

旧校舎活用計画に基づき、校舎北側の1階を高齢者福祉施設（訪問看護・介護、デイサービス、ショートステイ）、2階を映像撮影スタジオや大学のサテライト教室等に改修、整備するもの。5社（3社辞退）による指名競争入札の結果、新進建設㈱と2億7197万2800円で契約。

審議結果…全員賛成（可決）



改修される旧中山小中学校

議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

* 次回の定例会は、9月にひらかれます。

議会のつづき

4月

24日 安田川アユおどる清流キャ
ンプ場リニューアルオープ
ンセレモニー
26日 議員協議会

5月

7日 議会運営委員会
10日 議会広報編集委員会
14日 高知県知事訪問 (高知市)
17日 道路整備促進期成同盟会高
知県地方協議会通常総会、
道路整備促進高知県大会
(高知市)

19日 つながるく絆く安田町内会
研修会・総会
20日 議会広報編集委員会
23日 安田小学校運動会
26日 第2回中芸広域連合議会臨
時会 (田野町)
27日 安芸郡町村議会議長会総会
(東洋町)

6月

2日 総務教育常任委員会
4日 産業厚生常任委員会
交通安全町民会議総会
9日 議員協議会
11日 議会運営委員会
13日 町内環境美化行動
15日 中芸広域連合議会全員協議
会 (田野町)
18日 議会広報編集委員会
24日 第3回中芸広域連合議会定
例会 (田野町)
25日 高知県町村議会議長会臨時
総会 (高知市)
29日 議員協議会

7月

1日 議会運営委員会
5日 議会広報編集委員会
9日 議会広報編集委員会
19日 議員協議会
21日 第2回ごめん・なはり線活
性化協議会総会 (安芸市)
第2回安芸広域市町村圏事
務組合議会定例会 (安芸市)
29日 市町村議会議員研修
(高知市)

編集後記

梅雨で毎日うっとうしく感じる
中、私は高知大学の生徒の1人か
らのLINEに心打たれた。

「自分は県外出身者で、コロナ
禍の中で仕送りが少なくなり、バ
イトも減り、生活するにも大変だ」
と。

この話を友人たちに伝えたところ
「米や野菜を持って行こう」と
言ってくれた。ロコミで支援の輪
が広がり、米やナス・ピーマン・
トマトなど、たくさん野菜が届
き、30食余りになった。

彼らの待つキャンパスまで直接
届けた。

なによりも「私の所にもこんな
品物があるので持って行ってあげ
て」と、たくさん友人たちが協
力してくれたことは、じめじめと
した曇り空の中、心の中にまぶし
いほどの晴れ間を感じる1日だっ
た。

これからも続けていきたい。

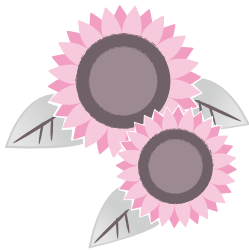
(編集委員 中島)

議会広報発行人

議長 小松 憲次

議会広報編集委員会

委員長 田之上 健太
副委員長 内川 一則
委員 豊永土佐太郎
委員 黒岩 円
委員 中島 瑞夫



各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和3年6月2日

調査事項

① 令和3年度総務課・地域創生課・教育委員会の主要事業の執行計画について

② その他

経過

総務課、地域創生課、教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎ ハサップ制度が令和3年6月1日に完全施行されているが、町内には公設民営で指定管理者による食品加工等販売施設もあることから、情報周知や助言・指導を望む。



食品加工等販売施設の輝るばーと

産業厚生常任委員会

開催日 令和3年6月4日

調査事項

① 令和3年度経済建設課・町民生活課の主要事業の執行計画について

② その他

経過

経済建設課、町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎ 今後、県営事業等の公共事業を早期円滑に進めるためにも、残土処理場は必要不可欠であることから、計画的に適地確保に努めること。



産業厚生常任委員会